

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	荒井
	全体計画			経費区分	-	内線	3425
事務事業名	4184 新サービス産業事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	05032600 商業の活性化						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費					
	事業	040000 新サービス産業事業					
事業目的				事業概要・効果			
新たなサービス産業の起業に向けた気運醸成を行うとともに気運醸成を図る。				新たにサービス産業を起業しようとする起業家の支援を行うとともに気運醸成を図る。 多種にわたるサービス産業の振興は、小売業に代わって町を活性化する要素となる			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
信州須坂みそ料理乃会支援 経済講演会事業(商工会議所との共催)	信州須坂みそ料理乃会支援 経済講演会事業(商工会議所との共催)
平成24年度 実績	平成25年度 実績
信州須坂みそ料理乃会支援 経済講演会事業(商工会議所との共催)	信州須坂みそ料理乃会支援 経済講演会事業(商工会議所との共催)
平成26年度 実績	平成27年度 予定
信州須坂みそ料理乃会支援 経済講演会事業(商工会議所との共催) 中小企業診断支援	信州須坂みそ料理乃会支援 中小企業診断支援

指標名 経済関係講演会の実施(共催)							
算式 (H27より予算事業を変更したため削除)						単位	件
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標	1	1	1	1		
	実績	1	1	1	1		
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名 中小企業診断のための専門家派遣件数							
算式						単位	件
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標	1	1	1	10	1	
	実績	0	0	0			
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		410	360
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		410	360
人員数 (人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	2,743.2	2,743.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,743.2	2,743.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,153.2	3,103.2

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	5	謝礼
11節 需用費	78	消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	255	負担金
その他	72	旅費等

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	20	企業診断委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	90	負担金
その他	250	旅費等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	やや低い
評価コメント	長野県中小企業団体中央会との連携による情報収集を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	利用してもらう工夫が必要	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率的実施に努める必要がある	

振り返り（決算年度の取組み課題）
（プレミアム付商品券については別予算事業とした）

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>新たな起業や中小企業者の育成の視点から、求めに応じた支援を想定しているが、有効活用していただけるための一層の事業内容等の周知徹底が必要</p>		<p>空き店舗の解消や市街地の活性化のため、新たにサービス産業を起業しようとする起業家のニーズを把握し、支援を行う。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	